【授業科目】看護管理学特論Ⅱ（看護実践における管理機能）　Advanced Nursing Administration Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
豊田 妙子	１年次 後　期	選　択	２	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	看護サービス提供が効果的に実施されるための連携・協働について看護管理の機能を学ぶ。保健医療組織が社会的共通資本であることを踏まえて、所属組織内のみならず地域と連携して看護サービスを提供するために組織構成員や他の組織との連携・協働の方法について理解を深める。実務家教員（豊田）がすすめる。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出された課題にコメントをつけて返却する。あるいは全体の総評コメントを学生に掲示または口頭にて伝える	
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。	
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①保健医療組織における管理上の課題について考えることができる。 ②看護業務における管理調整機能について考えることができる。 ③看護サービス提供における看護管理上の課題解決についての提案ができる。	
時間外学習に 必要な 内容・時間	配布資料を授業後に予習・復習することで、理解を深めること。 臨床での経験を生かし、授業での意見交換を積極的に行うこと。 提示する課題に関連する文献検索・検討を行っておくこと。 （各回事前事後学習に4時間） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。	
授業計画	１．看護管理学における管理の概念 ２．社会的共通資本 ３．社会的責任 ４．ネットワーク経営 ５．医療経済と看護 ６．保健医療の機能分化 ７．チーム医療と専門職種間連携・協働、地域連携・協働 ８～９．病院の組織構造の特徴・看護部の組織構造の特徴 10～11．保健医療組織における管理上の問題 12～13．保健医療組織における管理調整機能 14～15．看護管理上の課題解決の検討	全て 豊田
評価方法 評価基準	授業への参加態度、プレゼンテーション、レポートなど合わせて総合的に評価する。	

教科書	使用しない	参考書等	スティーブン P. ロビンス（著），髙木 晴夫（翻訳）：新版組織行動のマネジメント―入門から実践へ, ダイヤモンド社, 2009,　井部俊子監修：看護管理学習テキスト第 3 版 1～5 巻・別巻, 日本看護協会出版会　ほか、適宜紹介する